

第3回長南町地域公共交通活性化協議会 議事録

開催日 平成23年10月7日

小澤政策係

それでは、ただ今から、平成23年度第3回長南町地域公共交通活性化協議会を始めさせていただきます。本日はご多用のところ、ご出席を賜り誠にありがとうございます。開会に先立ちまして、資料の訂正を1点申し上げます。

資料訂正の説明；バス事業者・小湊鉄道(株)常務取締役・久我委員、欠席のため座席表を訂正

それでは、始めに、会長よりご挨拶をお願いいたします。

葛岡会長

皆さん、こんにちは。本日は、委員の皆様におかれては、大変多忙の中を、第3回長南町地域公共交通活性化協議会にご出席を賜りまして、ありがとうございます。本年は非常に暑い日が続き、さらには原発等の事故の関係で、節電のことで、この公共施設を始め、町民の皆様方にもご協力をいただいていたところでございます。そういう中では、公共関係においては、20%を超える節電効果をしたという報告もあるわけでございます。そのようなことから、室内における会議等には、大変迷惑をかけてきたかなと、思っておるところでございます。また、9月の15号台風につきましても、日本列島を縦断するような非常に大きな風の強い台風があったわけでありますが、本町においては大きな被害もなく、ほとと致しておるところであります。このようなことがあります、今日はひとつよろしくお願いをいたしたいと思うわけでございます。前回、8月9日に第2回の会議を開催いたしまして、2ヶ月近くが経過いたしましたところでございますが、この間におきましては、前回の協議会でいろいろご意見いただきました点を整理・検討いたしまして、その内容をご報告させていただき、それを踏まえまして、会議を進めて参りたいと考えております。また、9月末の定例議会も行われたところでございますが、この議会の中での決算認定の質疑で、巡回バスにつきまして、ご意見もあった訳であります、その中で、余り人が乗っていない、あるいは経費の無駄ではないか、このまま何もしないで続けていくわけにはいかないのではないか、というようなことから、町の考えを正されたところでございます。その中では厳しいご意見もいただいたところではございますけれども、本協議会の中でいろいろな検討を重ねていただいている、という答弁をさせていただいたところでございますけれども、町としては、やはり財政事情が大変厳しい状況であることからして、この点に関しましても、大変注視いたしておるところでございます。また、町民の皆様方からも、いろいろと巡回バスの関係につきましても、ご意見等をいただいております。今日、今日の会議におきましては、委員の皆様方の貴重なご意見、あるいはご提案をいただきまして、お願いを申し上げたいと思っております。なお、本日

の会議でございますけれども、1つは「巡回バスの見直し（案）について」、2つ目には「町における住民移動の状況について」、3つ目には「実証実験の実施計画（案）について」、というようなことをご協議いただきたいと考えておるところでございます。内容等につきましては、この後説明をいたしますが、どうぞひとつ、よろしくご協議を賜りたいと思っておるところでございます。

小澤政策係

ありがとうございます。早々会議のほうに入らせていただきます。議事の進行につきましては、設置要綱第7条第4項の規定により、会長に議長をお願いいたします。会長、よろしくをお願いいたします。

葛岡会長

それでは、しばらくの間、議長を務めさせていただきますので、よろしくお願いをいたしたいと思います。本日の協議会ですが、長南町地域公共交通活性化協議会設置要綱第7条の規定により、出席者が全委員の過半数に達していることから、会議が成立していることをご報告させていただきます。出席者につきましては、配布いたしました座席表にございますので、もう一度ご確認をお願いいたします。それではさっそく会議に入らせていただきます。議題1でございます。「巡回バスの見直し（案）について」を議題といたします。事務局より説明をお願いします。

唐鎌政策室長

議題1.「巡回バスの見直し（案）について」 内容説明

葛岡会長

それでは、只今、巡回バスの見直し（案）について、担当の方から資料を照らし合わせながら説明があったところでございますが、この内容について、皆様からご意見等を承りたいと思いますが、ご意見等ある方につきましては、挙手をいただいてご発言をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

町校長会・高山委員

西小学校の方で、午後のバスの本数を増やしていただきまして、ありがとうございます。有効にできるかと思います。ただ、朝のバスの件で、現状、小学校前が7時50分になっていまして、改正案で7時30分なのですが、7時40分をお願いできればと思っています。学校が開く時間が、30分だと少し早いので、40分くらいまで引き継ぎを考えるとギリギリ38分くらいかなと思うのですが、それでご検討いただければと思います。よろしくお願いします。

唐鎌政策室長

出来るかどうか分からないのですが、検討したいと思います。時間調整の関係ですね。

町校長会・高山委員

そうです。よろしくお願いします。

葛岡会長

他に如何でしょうか？

町議会・鈴木委員

巡回バスとデマンド交通を両方行った場合の年間の予算は、どのくらいを見込んでいるのでしょうか？

唐鎌政策室長

まだ細かな積算までは積み上げておりませんが、巡回バスを今2台動かしておりますが、1台になれば、経費が巡回バスのほうは半分かなと。それから、デマンドの関係でございますけれども、需要がどのくらいあるのかテストしてみて、その数量を測定し、それによって補助をどの程度までしたらいいのか、それによっても若干バスの支出というのは異なると思います。そういったことも含めると、今の巡回バスで支出している経費、これを目標にして、その範囲内で検討したいと基本的には思っております。

町議会・鈴木委員

ありがとうございます。

公募・池田委員

今の話題ですが、現在町は1,500万円くらい払っていますよね。2台のバスで。それを1台にすると半分になるけれど、後の半分は、デマンドのほうにお金がかかるだろうという想定ですか。

唐鎌政策室長

そうですね。

公募・池田委員

それと同時に、ここにデマンドで500円と書いてありますが、500円という基準はどこから出てきたんですか？

唐鎌政策室長

長南町は長生郡でも茂原市に次いで、エリアが広いところでございます。一宮、長生、白子さんとは約 3 倍も面積が違います。そういうところに家が点在しておる関係で、タクシーの料金で、一番遠いところだと 2,500 円から 3,000 円程度かかる。初乗りの 710 円では 2 キロまで。3 キロでだいたい千円。そういうところを加味しますと、500 円程度の料金を受益者からいただき、平均 2,000 円かかったとすれば、そのうちどの位か補助する形、町からの支出といった形になるかなと。平均の話です。そのへんの 500 円に決めるのか、600 円にするのか、400 円にするのか、それは財源との絡み、あるいは利用者等の数によって異なってくる。こういう風に感じています。

葛岡会長

池田さんよろしいでしょうか？

公募・池田委員

はい。

町議会・鈴木委員

先ほどの説明の中で、巡回バスの西地区を増やすということで、デマンドに関しては西地区を除外という可能性も出てくるというお話でしたが、それは如何なものかと。

唐鎌政策室長

先ほども説明させていただいたんですけれども、巡回バスが動いているところは、ある程度業者サービスをそれで享受できる。止めてしまうと、移動の手段に困る方がいらっしゃる。利用が少ないから、そういう方は少ないだろうという予測は立つわけでございますけれど、少なくともなんでも利用の不便な方がいらっしゃる。そういった部分につきましては、デマンドで補填していくという形になります。ただ、地域によって、また時間によって、デマンドを動かしたり動かさなかったりといいますと、とくに高齢者の方には非常に分かりづらい面もあるのかな、という部分は危惧しております。ですので、連携計画を作成する中で、そのへんも委員の皆様方の意見もお聞きしたいと考えております。

県バス協会・花崎委員

先ほどの西小学校のことについて話があったのですけれども、やはりバスの現状は 7 時 50 分ですか？学校の開くのは 50 分ぐらいですか？

町校長会・高山委員

基本は 8 時です。

県バス協会・花崎委員

小学校優先ということで最初から大分やっておられますので、あんまり早く開くと、事故が想定されますので、現状でいったらどうかと思いますけれども。それと、乗り継ぎの問題が出てくるのですが、20分遅れるということは2番目の8時25分ですか、これは乗れるという計算なのですけれども、8時25分を利用する方はどのくらいいるか、この比率を教えてもらって、もしこっちがあまり多くないようでしたら、逆に小学校の生徒は利用してくれているということですので、そっちを優先に考えるということはどうでしょうか？

唐鎌政策室長

ありがとうございます。そのへんも十分に検討させていただきたいと思います。また、朝の便でどのくらい乗っているのか、ということでございましたけれども、うちのほうで小湊さんからいただいた調査を毎年行っているようですけれども、朝の時間、あるいは一日を通しての時間で、どれくらい乗車あるいは降車があるのか、長南車庫の部分で注目をして見させていただきますと、多いところで5人・6人・7人。10人以上にはなっていませんでした。茂原駅から夕方の方の平日の多い時間帯で、25人乗られまして、茂原市内を通過して、最後長南車庫で降りる方も1人・2人・3人。というような状況で、長南地域先で乗られている方も、1便当たり、多い時間で5・6人いらっしゃる。少ないながらも定期バスも利用されている方がいらっしゃる、ということは感じました。以上です。

西野総務課長

実は巡回バスの見直しをした中で、巡回バスの利用を増やしてみましようよということで、前回のことがあって、巡回バスを見直すあり方として、長南車庫から茂原行きに、茂原へ出ているバスにぶつけてみて、増やしてみましようよということで、その増やした中で実証実験をやってみて、いろんなことで検討してみましようよということで、今回の案を作っています。今先生のほうから、7時30分では早いから40分にしてよということで、7時40分くらいにしてもまだ7時55分には間に合うような状況にはなろうかと思えますので、とりあえずはここで合わせてみて、やってみて、それでやっぱり乗る人も少ないということで、それに合わせても意味がないよということであれば、その部分はもっと学校さんの方に歩み寄る形で、遅らせるというあり方を取っていくということではないかと思うのですが、如何でしょうか？

葛岡会長

只今、学校の実証の生徒の関係の時間ですね。この後実証実験等の中でもお話しが出てくる訳ですが、それを増やす中では様子を見てということで。飽くまでも子供たちを中心とした巡回バスという考え方ではなくて、利用していただくということがある訳ですが、

今回の見直しでは出ておりませんが、内輪の話の中では、子供さんが別の車で巡回バスを完全に廃止した中でのデマンド、ワゴン車等を擁する中で、それはそれとして対応するということのほうが、空車で動く便が少なくなるかな、ということも検討を内輪でしましたけれども。今回の提案の中には出ておりませんが、要は今課長が言いましたように、巡回バスの利用度を上げる意味で、小湊車庫に向けての朝のスタートに合わせた時間帯で今回やってみよう、ということで案が出ていることも、ご理解いただきたいと思います。

お気づきの点があればご教示いただければありがたいなと。

まだ、おありになるかと思いますが、まだまだご意見をいただく機会がありますので、とりあえずこの関係については止めて、次の2の説明をいただきたいと思いますと思いますが如何でしょうか？

一同 異議なし

葛岡会長

それでは、2の「住民の移動の状況について」ご説明をいただきたいと思います。

唐鎌政策室長

2の「住民の移動の状況」につきましては、状況の報告でございますので、昭和(株)さんの方から、資料に基づきご説明をいただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

昭和・清水

議題2.「住民の移動の状況について」内容説明

葛岡会長

ただいま、「住民の移動の状況」ということのなかで、資料の中から説明がありました。この関係について何かご意見・ご質問等あれば受けたいと思います。

国交省・池田委員

5ページについては22年の国調データで取られているようですが、4・6・7ページについては17年度中で取られているんですね。これは国の報告書では取れないですか？22年度の国勢調査のデータってまだ出ないですか？

昭和・清水

まだ22年度データは発表になっていなかったもので、現状ということで。

国交省・池田委員

おそらく、通勤通学の流動については国勢調査のデータでないと取れないと思うんですけど、それ以外の年齢別の人口であったり、高齢者人口の推移につきましては、各自治体のホームページで数字・データが取れるはずなので。ちょっと古い。3 ページで 16 年から始まって今 22 年のデータで約 8.5%減少していますとあって、17 年当時で 65 歳以上の人口が 30.3%ですよという、そこから 5 年以上経っているのだから、%的にはもうちょっと変わってきますよね。ですから、これ最後どんな形でおまとめになるかは不明ですけど、データが古いので、ここは差し替えるべきだと思いますよ。

昭和(株)・清水

なんらかの国勢調査以外の最新データがあれば、それを使って差し替えます。

国交省・池田委員

5 ページの方で H22 のデータがここまでドットが落ちているということであれば、出ているんじゃないかなと。結果自体がね。

それとあと、これは単純なミスプリントだと思いますけど、長南町在住者の自宅・自宅外ではなくて、町内でしょう？

先ほど事務局のほうから説明があった、隣接市町では 3.5%程度利用者が見込まれるというのは、22 年で高齢者の人口がこれだけいるので、交通としてはこれくらい見込まれる、ということで、逆算するとこのくらい人数が出るのかな、というような見込みが。それだということです。こんなこと言う話じゃないかもしれないけれども。

葛岡会長

ありがとうございます。データの関係で、この資料の中にも 17 年あるいは 22 年ということのなかで、国勢調査の関係も出ましたけれど、そうじゃない中でも確認取れるんじゃないか、というご指摘をいただきました。この点については、他にご意見ありますでしょうか？

無いようでありますので、次に進めたいと思いますが、次は「実証実験実施計画（案）」ということになる訳であります。先ほど 1 番の中で、巡回バスの見直し（案）ということでも、3 つの案が提示されておるところでございますけれども、その辺も含めてということになるかと思いますが。まず、実証実験をどんなふうに考えているのか、ということを知りたい上で、ご検討をいただきたいと思うわけでありまして。それでは、3 の「実証実験実施計画（案）」について説明をお願いします。

唐鎌政策室長

議題 3. 「実証実験実施計画（案）」内容説明

葛岡会長

只今、実証実験についての説明がございました。実証実験の説明ですと、1の「巡回バスの見直し（案）」の最後のページの、案3に関わるのではないかとと思われるのでありますが、その辺も含めてご意見等ございましたら承りたいと思います。

公募・二羽委員

実証実験は無償ということですよ。それは法律で制限されるからですか？

唐鎌政策室長

料金をいただいて、乗車賃をいただくということは、路線とかルートとか料金とか届出て許可をもらう。それで初めて料金がもらえます。その場合は2~3 か月の日数がかかります。それを待ってテストをするには時間がかかりますので、止むを得ず、当初から予算計上は全額させていただいて実証実験をやる、ということで予定をさせていただいたということでございます。

町住民課長・金坂委員

今の関連ですが、実験ですからね、実験期間だから無償でやると、実際に始めると 500 円は、決まってないでしょうけれども、そのことをかなり徹底してやらないと、実験にならないのではと僕は心配しています。

唐鎌政策室長

無償だから乗るよ、お金を取られるようになったら乗らないよ、という人も中にはいらっしゃるかもしれません。それは十分承知の上で実施したい、と思っております。ただ、公共交通をやる場合に、どこの市町村でも実証実験は当然やっておりますし、やる必要もあろうかというふうには思います。

公募・二羽委員

あと 1 点。車両が 2 台ですよ。それと、乗り合い、あとはデマンドも想定しておることですよ。同じ希望があれば。あと 2 台が出払っていて、それ以降予約したら早いもん勝ちで拒否するという形になるのでしょうか？

唐鎌政策室長

事業者さんとそのへん細部は詰めておりませんが、時間帯がバッティングした場合には、基本的には乗り合いでございますけれども、多少待ついただくこととなり、すぐ行きたいからタクシーを呼ぶよと、どちらかの方法になろうかと思います。

町区会・安田委員

前回の会議のときに、公共交通というのが非常に大きな問題がいろんな面であるのだけれども、存続させるのであれば中身の充実について具体策を出していかなければ、存続を主張し切れなくなるだろう、という話があったと思うんですけど。今までの、たとえば便を減らして、午前は利用者が多いから午前はあれするけれど、午後は減らして、その代わりデマンドというものをそこの中に入れていくということで、それが中身の充実の具体策ということなんでしょうか。それが1つと、それから、デマンドをやった場合には、たとえばどこまで行きたいというのは、どこらへんまでなら行っていいよとお考えになるのか、というのが1つ。それから、私が聞き漏らしていて理解が足らないのかもしれないけれども、車両はどういうのを？

唐鎌政策室長

まず1点目の話で、巡回バスに人が乗ってないので、どんな方法を考えて利用していただくのがよいのか。余計乗ってもらう方法をまず考える、というのがひとつあるわけでございます。いろんなことをやってでも、人口の減少、乗る人の数的な問題で、どうやっても乗らないとすれば、これは巡回バスをそのまま存続して動かすということは、行政としても非常に難しいと考えて、どっちかの方法なのかと。それで、お金を払ってまで余計に乗ってください、というわけにもいきません。基本的には困っている人に、十分ではないのですけれども、交通手段を町として考えてゆくと。基本的にはそういうふうにお考えでおるわけでございます。それで、今日の提案の中で、巡回バスを見直した。若干つなぎを良くするために朝の時間をそれぞれ 20・30 分早くした。午後の便は利用が少ないので、デマンドのほうに切り替えて利用していただく、というようなご提案を申し上げたわけですが、長南だけでなく、他の市町村の巡回バス、あるいはデマンドの状況を確認いたしますと、やはり、午前中の利用がほとんど、午後の利用は少ない。しかも、利用者の中身を見ますと、高齢者が非常に多い。同じ様な内容になっておりまして、何かいい対策はないですかね、ということではいろいろな町村に聞いて調べたりもしたのですけれども、なかなか、巡回バスだけじゃなくて、定期バスにも人が乗られていない状況で、我々としても非常にそのへんは頭が痛かった、検討するに当たって難しかった面でございます。

2点目につきましては、デマンドでの話は、一応町内限定ということで先ほど説明をさせていただいたわけですが、茂原まで行く、あるいは町村のどこまで行くとなりますと、路線バスの関係、あるいは商工会の関係、あるいは経費的な関係、あるいは時間的な関係。このへんが非常に問題点として出て参ります。そういったことをいろいろ考えますと、まず、小湊バスさん、あるいはHMCさんの定期バスも利用していただかないといけない、という基本的な考え方がございますので、そういったことも配慮して、町内ということで、案として出させていただいたところでございます。以上です。

公募・池田委員

時間的なことなのですが、ここに9時から16時と書いてありますが、あとは巡回バスが動くのでいいんですけれども、午後の4時というと、今は巡回バスが4時以降もまだ動いているところもあるんですよ。そういうのを考えると利用者がどうかと。なぜお昼からの利用者が少ないかというと、時間的に終業が早すぎますね。外へ出掛けたり、学校から茂原の駅に15時に着いていなければ乗れないのです。遅くとも15時半までに着いてなければ、普通の路線バスに乗れない訳。そんなに早く帰ってくるというのはなかなかない訳ですから、その後の路線バスに乗っているのを見ると、皆さんの家から車が迎えに来ています。平日バス停に。そういう現状があるわけで。それはどうしようもないのですけれども、そういうことも理解しておいて欲しい。少ない少ないと言われるのは、そこに問題がひとつあるということ。それはバスの終業も関与してくるから、簡単な問題ではないのですけれども。それから、16時というのは、タクシー会社に戻るのが16時なのですか、それとも利用者が16時に声をかけて乗れるわけですか？16時に来てくださいと言えるわけですか？このところをはっきりしておいてもらわないと。

唐鎌政策室長

デマンドの時間につきましては、まだ検討の余地はあるわけでございますけれども、他の市町村の状況等も見ますと、8時半から16時半とか、16時とか。高齢者の利用は午前中に集中するようで、午前中に全体の58%くらいの利用がされていると。午後からの利用はやはり少ない、という点も考慮いたしました。それから、16時というのは予約する時間ということでご理解いただきたい。

公募・池田委員

わかりました。

葛岡会長

それから今、池田委員から出ましたけれども、たとえば茂原の区間が出ましたけれども、バスとのつなぎということが、いわゆる町外に出られないことですから、町外から長南のバス停まで来たときに既に16時半を過ぎたケースもあるかと思いますが、そういったときに利用ができないか、ということになるかと思いますが、そのへんが時間の幅ということになりますね。検討の話になるかなと思います。

先ほど説明の中でも、資料3の4ページの中にいろいろと実施内容について出ておりますが、5番の対象者、ただいま時間の関係もございましたけれども、14の運行业者についても、まだまだこれは叩き台ですよ、というようなことでもあって、ご意見を賜りたいと担当からの話も出ておりました。このへんにつきましても、ひとつご意見がいただければと思います。

公募・池田委員

無料にしてやるっていうんですけれども、他のところで巡回バスに乗れば 100 円取られるんだから、少なくともその値段ぐらいは払うこと自体はどうなんですか？いくら実験だとしても。おかしいですか？

唐鎌政策室長

実証実験で料金が取れるか、池田さんお願いしたいんですけれど。

国交省・池田委員

先ほどの事務局の説明どおり、お金を取るためには、運送事業における許可を取らなければいけないんですね。許可を取るためには、事業者さんが申請をされないといけないんですね。先ほどおっしゃったように、許認可期間というのがございまして、それが2ヶ月程度かかる可能性がございます。ただ、最初から取らない方向で議論を進めるのではなくて、「最悪取らない」、が結果になっていただければいいのかなと。要は、なるべく事業者さんを早く決めて、運行形態を固めて、この公共交通会議の中で承認をいただくことで、時間的な制約については多少早くなる可能性がございます。ですから、今の段階で最初から申請行為が難しいから、そこはやらないということはしないで、ギリギリまで皆さんで議論をしていただいて、場合によっては書面協議という形もできるかと思いますので。私も最初からただでやるのは反対ですので。運送に対する対価というのは必ず利用者から頂いた方がいいと思います。実験だから間に合いそうもないので、最初からあきらめてしまうというのはどうかなと。そこはもうちょっとご検討いただければと。私どもも申請をどういう中身にするのかとか、どこまでやればいいのかというのは、十分事務局と調整したいと思いますので、最初からやらないという選択はできれば外していただきたいなと。

唐鎌政策室長

ありがとうございます。

県バス協会・花崎委員

実施要綱はいろいろ定まってくるのですが、この1ヵ月というのは今の形態。このコースだとかは、11月・12月に固めて、一体化していくという形になろうかと思うのですが、よくあるのは、午前中は医療機関、午後は何に使うかという買い物とかに、というのが多い。たしかに、自由に使える感覚の方がいいものですから、そうすると、時間を予約しておいて、医療機関に行った。医療機関に行ったら、いつもこれくらいに終わるのに、今日はたまたま1時になってしまった。そんなつまらないトラブルがいろいろあるようですね。あと月～金なのですが、土曜日というのは。医療機関に行ったりなんかして。そここのところが、やっぱり考えてやったほうがいいかなと。それと、私も池田さんと同じ

意見ですが、無償というのはあまりよくないですよ。おそらくタクシー業者から借り上げて、貸しきり形態でやるかどうか分からないですけども、できればお金をもらったほうがいいかなと。茂原のほうに就業率が約3割くらい、2割強ですか、出向いて行くんですよ。学校を卒業すれば運転免許証というのは推薦条件になっちゃう。たとえばこういう形で、不便だから、あるいは自分が乗りたいときにバスが走ってないから、だからマイカーの依存度が高くなってしまっている。たとえば、乗ってもらえるような仕組みとか、何ができるかっていうと、他のところだとアンケートで出てるんですけども、せっかく高いお金を払ってチャーターして、そこから要するにジョイントさせるような話だから一人でも二人でも多く相乗効果を上げるような仕組みを取ってくれればと思いますけれども。

葛岡会長

他にありますか？

公募・二羽委員

まだ決まってないかもしれないのですが、予約の具体的なやり方は、どのような方法で行いますか。それから、乗り合わせになったら、調整ですよ。利用者から電話があつて、すぐその場で、「はい了解しました」、と即答できるのか。そのへんのところを聞かせていただきたい。

唐鎌政策室長

デマンド交通は予約ということで、予約は3日前くらいから前日くらいまで、という想定はしておるんですけども。10日前、あるいは1週間前から予約できるということになりますと、高齢者の方が忘れてしまうということも見受けられるということがありますし、10日前、1週間前の予約だと、予定の変更の可能性も非常に高くなる、という部分も留意しなくてはいけないのかと思います。それから、前日までという基本的な考え方でいるんですけども、当日でも、もし空いていれば、当日の1時間前までであれば、空いていればの話ですが、予約可能と。これは例外的な措置ですが、そういうようにも考えたいなというふうに思います。それから、バッティングした場合ですが、先ほども申し上げましたけれども、時間をずらすことが可能であれば、「もう30分お待ちください」、とか、「何時ならOKなんですけど」、という形で相手との交渉になると思います。あるいは、どうしてもそれで間に合わないということであれば、「タクシーでいいですから来てください」、ということにもなろうかと思います。また、方面で似たような方面があつた場合には、迂回して、Aさん宅からBさん宅、Cさん宅と、時間帯も同じ、目的も同じということであれば、ループで動かしていくことも、乗り合わせということですので、行きたいところへまっすぐ行けるという訳ではない、ということで考えてます。よろしくお願いします。

調整の話につきましては、事業者さんと業務委託契約をし、事業者さんに受付事務、あ

るいは配車の関係、調整の関係をお願いしたいと思っています。

長南タクシー・鈴木委員

1点ですけれども、デマンドということで。長南町という場合、午前中ほとんどお客さんが動くのがお医者さんとか、そういう関係が多いのですけれども、そういう流れの中で、お医者さんの方にも運賃の協力とか、もうひとつのデマンドの考え方だと思うんですね。そういう意味で、協力や交渉なんかをする計画はないのですか？

唐鎌政策室長

他の地域を見ますと、病院が大きなデマンドのバスを走らせて、患者輸送をされているというケースもあるわけですが、今のお話はデマンドの経費相当に、町内の医院さんから若干支出を受けられないか、町の考え方は、ということだと思うのですが、町内の医院と言いましても、大きな医院ではなくて個人医院、しかも数も少ない。また、長南町の人口的なものから考えますと、ちょっと無理なのかな、と考えております。

葛岡会長

他にありますか？

HMC・北里委員

単純な質問ですけれども、デマンドに関して、利用の仕方・乗り方は町内のどこからどこまででもいいんですか？

唐鎌政策室長

はい。

HMC・北里委員

すると、65歳以上の、今2社でご利用されている方は、確実にこちらに流れますよね。

唐鎌政策室長

巡回バスからということですか？

HMC・北里委員

いや、今事業者さんが2社あると思うんですけれども。9時から18時まで利用されている65歳以上はこちらにいきますよね。乗り合いバス関係なくして。

唐鎌政策室長

定期バスとの比較ということですか？

HMC・北里委員

いや、バス関係なくして。長南タクシーさんとゆたかタクシーさんで、現状おそらく 1000 円ないし 2000 円で乗っておられる方というのは、すべてこちらに行きますよね。その予約とかはすべてデマンドでやっていくのか。どれくらい利用者がいるのか分からないですけども。1 日 1 人・2 人というのはないと思うんですけどもね。9 時から 18 時までで。長南だけでも。

長南タクシー・鈴木委員

9 時というのは私もちょうと。自分が、医者さんがあるという、もうちょっと早く出ると思いますから、そういう細かい点は、実際にやってみないとわからないというのは確かだと思いますけど。

唐鎌政策室長

今 HMC さんのほうから、移動困難者であり、タクシーを利用していた方は、65 歳以上であればデマンドに 100% 行ってしまうという話ですよ。そうすると、タクシーの方の売り上げは減ってしまうということにもなるわけですけども、ただ、デマンドの方で事業者さんはプラスになりますので、売り上げとしては、さほど変わらない。ただ、町の方が補填しなくてはいけないという部分が出てきます。

HMC・北里委員

1 社が運行するんですよね？

唐鎌政策室長

実証実験については 1 社を予定しております。2 社ございますので、本運行になったら 1 社だけという訳にもいきませんので、それはそれぞれなじみのお客さんもいると思いますので、お客さんの方に判断をしていただく。ただ、たっぷり車を用意するわけにもいきませんので、1 台ずつ、2 台程度が相当かなという案では考えております。

葛岡会長

業者さんの関係について、実証実験ではタクシー業者さんに限らず、小湊さんも巡回バスをやっておられるということもある訳ですから、今日は、小湊さんは来られておられませんが、現在の運行を停止することも考えての実証実験ということになりますので、そのへんは詰めていかないとならないのかなという風に思いますが、ご意見ございますか？

小湊鉄道・古市委員

今日は小湊鉄道、会社側からは来ておりません。私は組合側でございます。今運行するバスが2台ありまして、10往復ずつ、20往復やっているかと思うんですけれども、これを案としてやった場合、東コース3本、坂本・豊栄3本で6本、午後は運休、西コース7本、長南・蔵持は3本で、17本ということでもありますけれども。バスの運賃は今小湊鉄道いただいておりますけれども、4本なくなっても、朝の7時から12時55分まで仕事をしているので、なくなった分は12時55分から16時55分と、4時間だけなので、大して委託費は減らないのではないかなと思います。そのへん考えた方がいいのではないかなと。だったら逆に全部運行しておいた方がよろしいのではないかなと。

唐鎌政策室長

業務委託料の話ですね？

小湊鉄道・古市委員

そうです。

唐鎌政策室長

業務委託料年間1,500万。それで大した変わりがないと。

小湊鉄道・古市委員

経費が減るので、本数を減らすわけですよね。東コースと坂本コースを6本にする訳ですよね。午後はなくなる訳ですよね。無くなっても1,500万というお金をくれるのであれば、うちは何ら問題ないですけれども。たぶん、当然やらないんだから、ということは言うてくるだろうと。その時に走っておいて方が、大して変わらないのであれば、今までどおり走っておいた方がよろしいんじゃないかなと。

唐鎌政策室長

それは実証実験の話ですよね？本実施の話じゃないですよね？

小湊鉄道・古市委員

実証実験やって、本実施やりますよね。その時に実証実験でもそのままお金をくれるのであれば問題ないですけれども、減らされてしまうと、どう考えても……

唐鎌政策室長

実証実験で本数を減らしても、本年度の業務委託料につきましては、さほど変化がないということで、今おっしゃった訳ですよね？

小湊鉄道・古市委員

そうです。変化がないのだから、だから従来どおり走った方が――

唐鎌政策室長

料金は同じだよ、ということですよね。

小湊鉄道・古市委員

デマンドの動きを見るのに、バスを止めるということですよね。

長生土木事務所・渡辺委員

1,500 万というのは変わらないですよ。ただ、本数がストップするだけの話ですよ。

唐鎌政策室長

ストップしてデマンドのテストをするということです。

長生土木事務所・渡辺委員

いずれ本数が減ってそれにかかった費用が減るかどうかは、実際に運行始めたとして試算であって、23 年度は今までどおり変わりません。

唐鎌政策室長

そういう風に考えています

小湊鉄道・古市委員

23 年度は変わらないということですね。

葛岡会長

ただ今の、実証実験での経費的な関係での話でしたが、実証実験を含めて協議していただくことになるかと思いますが、できればやはり、全部を運行しながらデマンドをやる、すると、かなり問題も出てくるかなと。要は、目的としては経費をいかに節減していくかという前提の中での形を見ていくわけですから、デマンドをやった場合の分析ですかね、その辺が一方に集中してかなり高くなっていることも場合によっては想定できますけれども、基本的には、担当の方からはそのへんの年間契約は変わらない、というような答弁があったかと思いますが、細部については、協議をしていただくということもお願いしなければならないのかな、と思うわけですが。その辺は今担当から話がありますでしょうか？

西野総務課長

そうですね。基本的にはそういうことでいいと思います。私どもとしては、今後実証実験に向けていろいろな業務をしていく形なのですけれども、今日いただきました関係では、実証実験については、無料ではなくて、ある程度の料金をいただくあり方をきちんと協議をさせてもらって、実証実験に入っていきたいと思っております。ただ、唐鎌のほうで説明をさせてもらったのですけれども、やろうとしている実証実験の部分については、65 歳以上の高齢者および身障者の方に対してのみデマンドは行う、という考えですけれども、はたしてそれでいいのか。対象といったところで制限していいのか、まったく規制しないでやってみようというあり方の方がいいのか、そのへんの議論だとか。あるいは、9 時から 16 時については、先ほどの話では、短すぎるのではないかとということで、8 時半とかあるいは 8 時くらいから、少し長くした方がいいのかなという部分があると思うんですけれども。対象者の関係などは、如何なものでしょうか。もし議論していただければありがたいと思うのですが。

葛岡会長

ただいま、対象者の関係、時間の関係も話として出ました。そこらについて、ひとつご意見を賜りたいと思います。

公募・二羽委員

私、その点は気になっていたんですけれどもね。実際今巡回バスを利用する人の実態調査でね、65 歳だったり、60 歳とか、59 歳とかの交通弱者というのがいるわけですよ。自分で運転できないとかいろんな条件があるでしょうけど、そのへんのところを考慮されたらもっといいんじゃないかなと。もう 1 点ですね、アンケートの問題ですけれども、協力要請を行って回答拒否をされた場合、アンケートを行わないものとする、最初から決め付けてますけれども、この点は結果が返ってこないのしょうがないでしょうけど、アンケートを全員にやるんだという強い意志を出すべきじゃないかと思うんですけれども。じゃないとアンケートの意味がない訳ですから。以上です。

唐鎌政策室長

アンケートにつきましては、デマンドに乗っていただいた方に、降車時に協力をお願いをする。もう 1 点は、無作為に住民の方々の、利用している人・していない人に関わらず、公共交通あるいはデマンドについて聞いてみると。ただ、デマンドに乗ってない人に聞いて、「デマンドって何だって」と言い方をしても、わからないという回答になろうかと思えますけれども。ただ、乗っていただいたときにアンケートをやる側には、アンケートの協力を拒否されるとやっぱり難しいのかなと思っています。

町区会・安田委員

今いろいろとお話を伺って、たとえば、将来的にデマンド交通が拡充していくのかとか、時間帯がどうか、料金の問題がどうか、細部についてはいろいろとたしかにあると思うんです。ただ、私が思うのは、今二羽委員もおっしゃられましたけれども、基本的に公共交通の整備・活性化というのは、交通弱者が長南町にあって、不便なくいろんなことが、生活がなんとかできる、というようなことを大きな目的にしていくことだと思うんです。そうすれば、最終的にはデマンドが撤退になっていくのかわかりませんが、いずれにしても、基本は交通弱者が長南町において、澁刺と不便なくいろいろと生活していけるように手助けをするというものだと思うので、そうなってくるとお金が非常にかかって無駄じゃないかとか、いろいろな意見も確かにありますけれども、そういう福祉的なものは、多少の支出というか、ペイできないということも、私は止むを得ないじゃないかという気もするんです。ですから、今はともかくとして、将来的には、そこら辺は、今後、役場の皆さんやいろんな人に考えていただきたいけれど、多少のペイできないとかそういうものについては、いい方向に考えてでも、交通弱者、年寄りだけじゃなくても交通弱者を何とか町内において生活ができるようにしてやっていくためには、多少の負担を考えていく必要が、町としてもあるんじゃないかと、私は思っただ話を聞いていました。

葛岡会長

ありがとうございます。たしかにそうでありますけれども、現在いろんな福祉政策を町としても、子供たちからお年寄りまで取り組んでおりますが、やはり限度というものがあるものですから。たとえば国民健康保険もそうでございますが、皆さん方からの税金の中で取り組む姿勢でございますので、限界がないということはありませんので、その辺は財政の範囲内ということになると、利用者が出来れば当然そこにはそれなりのものが出てくるかなと思われる訳ですけれども。基本的には、手助けをしようということでは、福祉政策の一環としては共通しているのかなと感じておりますが。

なにか担当の方で他にございますか？

唐鎌政策室長

今日いろいろ、見直しの関係、デマンドの関係、ご説明をさせていただき、いろいろとご意見もいただいたところでございますけれども、デマンドの関係につきましても、まだ検討しなくてはいけない細部の部分がございます。対象者の話とか、時間の問題とか、いくつか残された部分もございます。これらを詰めないで、実証実験のスタートできませんので、これを詰めた後、再度協議会を開いていただきまして、確認していただいて、実証実験に移りたいということになるのですが。協議会を開くのもなかなか急にも開けない関係もございます。細部の検討、あるいは最終的な案の確認について、いか様にしたらよろしいか、それをお諮りしたいと思います。

葛岡会長

今担当のほうから、今後に進める上での確認という話でございますけれども。1つは資料1の中での、3案の方向での実証実験をしたいという、お願いしたいということを言っている訳ですが、これについて委員の皆さん方ご賛同いただけますでしょうか？

いただければ、細部についての調整は、今までご意見いただいておりますので、これを次の会議に諮るか、あるいは出来上がったものを委員の皆様方に郵送等で示すか、時間的な関係もある中で、その辺は考えたいと思うのですが。今日、実証実験の案として説明をさせていただきましたけれど、それに対してご意見ございませんでしょうか？

大変おこがましいのですが、異議ないということで挙手をいただければありがたいなと思います。

※ 一同 挙手

葛岡会長

ありがとうございます。

町区会・安田委員

たとえば「デマンド」っていう言葉以外には言葉はないんでしょうかね？「デマンド」っていうのが一番いいんでしょうかね？

西野総務課長

分かりづらいようであれば、もっと分かりやすい日本語を使いたいと思いますけれど。

町区会・安田委員

デマンド交通って、分かる人はわかっているんですよ。だけど、年寄りのところに行くと、「デマンド交通を今度やるようになったから、それを利用して」、という話をして、デマンドというのがなじむのかな、というちょっとした不安・懸念がありますね。1回聞いても「また忘れちゃったよ」、ということになるんじゃないかな、という気がするんですけど。もうちょっと、愛称のある親しみを持たれるようなネーミングになったらいいな、という気がちょっとしました。

西野総務課長

他の地域では、「デマンド」という言葉ではなくて、「乗合いタクシー〇〇ちゃん」だとか、「ふれ合いタクシー」だとか、そういった名称をしていますので、ものは「デマンド」ですけれども、何かわかりやすい名称にしていって方がよろしいかと思っています。

葛岡会長

実証実験に向けてのPRと言いますか、内容の周知について意見が出ておりますが、お年寄りの方々を相手というか、対象にしている、65歳以上ということでいくと、その辺が大事なという風なご意見をいただきました。

長南タクシー・鈴木委員

今、65歳という意見がありましたけれども、私、タクシー会社ですけれども、「デマンド」をやることによって、タクシーの営業としてこれからどうなるか、という不安はまったくない訳ではないですよ。お客さんを取られちゃうこともあるかもしれないし、最近ではやっても止めてるところも、失敗しているのもありますし。「タクシーで茂原まで運びますよ」、という訳で、ここまでやればお客さんは便利ですけど、バス会社さんはどうなるのか。ある程度一線はきちっと作っていただきたいな、と思います。

葛岡会長

実証実験をこの形でする、ということでは、先ほどからご意見をいただきましたので、この辺で閉めさせていただきたいと思いますが。今までいろいろご意見いただいてきておりますが、まだ何かあれば承りたいと思いますが。

国交省・池田委員

実際の運用上は65歳以上、それから身障者ということで縛る、ということは問題ないと思います。ただ、運送法上、法律上は申し込みがあった場合は誰でも受けないといけないということになっています。運用上この乗り物については、町のほうで運用していますので、こういうルールを決めて、もちろん事前届出も必要です、事前の申し込みも必要です、ということになってきます。ただ、本来申し込みがあった場合、基本的には受けないといけない、というのが事業者側の形になります。乗る人を縛った形で申請行為がないので、ただ、そこは實際上、町の方で決めたものですから、そこは皆さんにきっちり周知をしていただいて、利用の促進を図っていただければ、問題ないと思います。ただ、手続き上は、一般ということなので、乗る人を限定するということは基本的に出来ないということでご理解いただければと思います。ですから、先ほど鈴木さんがおっしゃったように、ルール上はエリアで取りますから、許可上、長南の町域だけで乗り合いの運行を取ります、ということになると、そこから外に出ますと「区域外の運行」になりますので、そこは法律上罰せられますから、鈴木さんがおっしゃったように、あらかじめそういうことはできないんだよ、ということを明文化した上で、皆さんにお知らせいただければ、と思いますのでよろしくお願いします。

葛岡会長

議題1, 2, 3とご協議をいただきました。その中で何かあれば伺いたいと思いますけれども、無いようでしたら、次の、その他ということで進めさせていただきたいと思います。担当のほうから何か、その他でありますか。

唐鎌政策室長

「その他」につきましては、事務局のほうではございません。

今日いろいろ確定したものでご提案できればよかったのですが、方向性の定まらない中での会議の開催ということになりましたので、ただ今は、基本的に実証実験こういう形でということで、ご承諾いただきましたので、その線に沿ってそれぞれ検討させていただき、事前協議も始めさせていただくと。そういう中でまとまってきたものにつきましては、報告をさせていただき、また、その部分も事務局に一任いただければ、報告をするということでご承認いただければ、そういう形で進めさせていただきたいというふうに思います。あと、実証実験が決定した暁には、協議会を開いてご説明をさせていただきたいと思います。ただ、いつ頃という話になりますと、相手の関係もございますので、なるべく早くやりたいという気持ちではおりますけれども、時期については未定ということで。詰める話につきまして、事務局一任でお願いできれば、という風に思います。以上です。

葛岡会長

ただ今担当のほうから、本日ご協議いただいて修正するところもいくつか出てきておりますが、これを含めて、今後実施に向けての方向として案を決めていただきましたが、内容についての報告等は、調整させてもらいたいということでありまして、実質的には実証実験をやる段階にはっきりした時点では、皆さんと会議をもつということですが、そういう流れで皆さん方如何でしょうか、よろしいでしょうか？

※ 一同 異議なし

葛岡会長

ありがとうございます。それでは、今申し上げた流れで今後進めて参りたいと思います。大変長時間にわたってご協議いただきまして有難うございました。

小澤政策係

それでは、以上を持ちまして、第3回長南町地域公共交通活性化協議会を終了とさせていただきます。長い間のご協議ありがとうございます。